

教育目標「考える子 思いやりのある子 たくましい子」



せんだんの木

伊勢崎市立茂呂小学校 学校だより No.9 令和7年9月12日



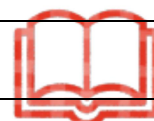
全国学力・学習状況調査の結果について



4月に6年生を対象に実施した「令和7年度全国学力・学習状況調査（国語、算数、児童質問紙調査）」の結果が国から届き、6年生には1学期の終業式の日
に自分の結果（個票）について返却をしました。その後、夏休み等を使い、良かったところや課題（対応策）について校内で分析を行いましたのでお知らせします。
なお、本調査は児童が身に付けるべき学力の一部であり、学校における教育活動の一側面を調査したものであることにご留意ください。

国語

本校は、全国平均正答率より高い結果となっています



【良かったところ】

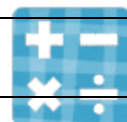
教科書で扱った熟語や日常的に使っている言葉については身に付いており、日々の家庭学習での漢字練習等の成果が出ていると思われます。説明文等において、文章構成の工夫を説明したものを選ぶことができていることは、筆者の考えが分かるところに線を引かせたり、〇〇文字以内でなど条件下での要約をさせたりした成果が出ていると考えられます。また、調べたことをもとにくわしく書くことができているのは、構成シートを使って思考を整理して文書を書くなどの成果が出ていると考えられます。今後も漢字練習や読書、新聞を使った読解などを続けることで基本的な知識・技能を高めながら、表現力も伸ばしていきます。

【課題と改善策】

複数の資料を読み取って適切なものを選択する問題については、昨年度同様、全国平均よりやや低い結果となりました。引き続き、文章を読み取る際のポイントを共に考えたり友だち同士で比較したりする活動を通して、思考力や読解力をつけていきたいと考えます。また、自分の意見や考えを端的に文章にまとめる練習や自分の考えや根拠を明確にして伝え合う表現活動も充実させていきます。

算数

本校は、全国平均正答率より高い結果となっています



【良かったところ】

「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」のどの領域においても、全国平均や県平均よりやや高い結果となりました。算数について、「好き」「授業の内容が分かる」と答えた児童も多くいました。日々の授業や家庭学習での取り組みの成果が出ていると考えます。特に、学んだことをそのままにせず、既習事項の復習として、ドリルを繰り返し行ったり、テストの間違いを一人一人が分析してやり直したりした成果が出ていると考えられます。通分など基本的な計算もよくできており、計算の途中式を書いたり、倍数を書き出して公倍数を見つけたりするなど、丁寧に計算に取り組んできた学習が活きていると考えられます。今後も引き続き、基本的な計算練習にしっかり取り組みせたり、既習事項を使って課題解決をしたりしながら、達成感を味わえる授業づくりを意識して取り組んでいきます。

【課題と改善策】

簡単な二次元の表から条件に合った項目を選ぶ問題と、台形の意味や性質について理解しているかを問う問題は、正答率がやや低い結果となりました。授業では、身近で児童の興味ある題材を使い、条件をもとに表に表す活動や表から読み取る活動を取り入れていきたいと思います。また、図形の学習では、実物を使ったり実際に測ったりするなど、実感を伴って考える活動を多く取り入れていきたいと思います。

理科

本校は、全国平均正答率より高い結果となっています



【良かったところ】

「エネルギー」の電流がつくる磁力を強めるためのコイルの巻き数の変え方を書く問題や、「粒子」の水の結露を適切に説明しているものを選ぶ問題、「生命」のレタスの種子の発芽の結果から見出した問題を書く問題の正答率が、全国平均や県平均よりやや高い結果となりました。これらは、実験・観察の時間を確保し、自分たちで何を確認するかを確認し、解決するための方法を考えるようにしたり、どこに注目して結果を記録すればよいのかを意識させたり、まとめては問題で求められていることに答えるように書くことを繰り返し指導したりした成果が出ていると考えます。

【課題と改善策】

「エネルギー」の「赤玉の粒の大きさによる水のしみ込み方の違い」をまとめたわけについて、結果から結論を導いた理由を書く問題は、正答率がやや低い結果となりました。「赤玉土」という語句に聞きなじみがなかったことが考えられるため、以前学習した内容についても時々振り返る時間を作るようにしていきたいと思います。また、Eライブラリなどのオンライン教材を活用しながら、様々な問題に触れる機会を増やしていきたいです。

児童質問紙

思いやりや規範意識、学習へ向かう姿勢等は確実に身に付いています



【自己肯定感・自己有用感に関して】

「自分にはよいところがあると思いますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」「地域や社会をよくするために何かしたいと思いますか」という質問項目は、今回も全国と比べて肯定的な回答が多くなっています。本校では、各学級の係活動や当番活動、委員会活動、クラブ活動、たてわり活動（わくわく集会）といった特別活動を大切にしており、その成果と言えます。今後も、「自分たちの学校は、自分たちでよりよくする」といった意識を高め、自分から行動できる子供たちを育てていきます。

【相談しやすい雰囲気作りに関して】

「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」という質問項目では、全国と比べて今回も肯定的な回答が多くなっています。毎月、なかよしアンケートを実施し、日頃から先生に話しやすく聞きやすい雰囲気づくりを積み上げている成果と考えます。今後も、子どもの気持ちを受け止め、話しやすさや聞きやすさのある雰囲気づくりや子供たちへの声かけに努め、温かな学級・学校作りを一層進めていきます。

【子供たちの学びとICT機器の活用に関して】

5年生までに受けた授業では、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」「各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」「学習内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」「自分に合った教え方、教材、学習時間などになっていましたか」という質問項目でも、全国に比べて肯定的な回答が多くなっています。

また、5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、「分からないことがあった時に、すぐ調べることができる」「友達と協力しながら学習を進めることができる」などの質問項目で、今回も全国に比べて肯定的な回答が多くなっています。

各教科等の授業で、「学び合い」を取り入れた学習活動となるような授業を展開するようにし、タブレット端末を有効に活用してきたためと思われます。今後も子供たちが主体的に学習に取り組めるような授業づくりを進めていきます。

【家庭学習の量と質に関して】

平日や休日に、家庭での学習が「2時間以上、3時間より少ない」「1時間以上、2時間より少ない」と回答した割合が、全国に比べて多くなっています。宿題だけではなく、自分で考えた学習に取り組むチャレンジノート等に取り組んできた成果と考えます。

今回も「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできている」という質問に肯定的回答が多いので、引き続き、チャレンジノート等の家庭学習の取組を充実させていきます。

